

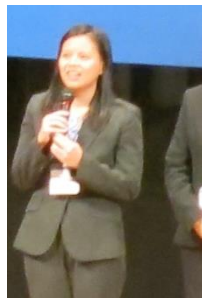
地域包括ケアという言葉。厚生労働省は、高齢化社会の高齢者の生活を守る枠組みとして発信しているようです。そこには「自助、互助、共助、公助」の4つの助け合いがあると考えられています。この“助け合い”のシステムは、何も高齢者だけが必要としているものではないと思います。

現在、「微笑みを交わす人がいれば人生は幸せ」というスローガンを掲げた「多世代共生・共助型住宅」を運営しています。そこには、敢えて区別するならば高齢・子育て・障害という福祉区分に属する方もいれば、学生や事務所としてその場を借りている方もいらっしゃいます。また、法人本部部長を務める社会福祉法人では現在保育園、児童クラブ、児童発達支援事業所を運営しておりますが、世の中の経済的な仕組みではなく、日々の人間の営みを知れば知るほど「自助、互助、共助、公助」を基にした全年代を対象にした地域包括ケアの重要性を感じています。地域の単位は、県・市・町など大きなことではありません。ナガヤタワーでは6F建てのビル1棟の地域の話。社会福祉法人では事業所単位でできること。小さな輪を少しずつつなげていくことが大切ではないでしょうか。

私は両親が特別養子縁組というものをしていた関係で、血のつながりではない縁に導かれていく赤ちゃんを何人も見てきました。また、現在ナガヤタワーの中にある家庭版児童養護施設で暮らす子ども達の支援をすることで、やはりまた血縁は無い家族と暮らしている子を間近で見えています。子ども食堂を運営していると「子どもの貧困は見えにくい」ということが良く言われます。困っている人、助けを必要としている人は見えにくいです。誰しも大変なことがあるという言葉で切り捨てられがちです。是非、そのような存在へロータリアンの皆様のご支援を賜りますようよろしくお願い致します。



RI 第 2730 地区 2018-2019 地区大会



10月13日(土)、14日(日)、鹿児島市民文化ホールで開催されました。『2017-18年度RI会長賞』を受賞いたしました。米山奨学生のナターシャさんも舞台上で自己紹介されました。第2本会議のパネルディスカッションには、鹿児島商業高校1年山元君がパネリスとして参加してくれました。

●ホームクラブ出席率 80%を目指しましょう！

出席報告	第 2903 回	第 2901 回訂正
会員数	42(39)名	42(39)名
出席数	26(25)名	31(30)名
出席率	65.00%	77.50%

●今後の予定

10/24(水)	外部卓話 グッチ由美子様
10/31(水)	祝日休会
11/7(水)	クラブフォーラム (60周年について)

市内ロータリークラブのプログラム

★印は記帳メイクアップ受付があります。

RC	例会日	プログラム	例会場	RC	例会日	プログラム	例会場
東	10/18(木)	ガバナー公式訪問	サンデイズイン鹿児島	東南	10/23(火)	ガバナー公式訪問	サンロイヤル
北		クラブ協議会	レゾナント鹿児島	城西		クラブ協議会	東急 REI ホテル
サザン		★休会	東急 REI ホテル	西	10/24(水)	内倉ガバナー補佐訪問	山形屋
鹿児島	10/19(金)	ガバナー補佐訪問	山形屋	西南		ガバナー公式訪問	ゆうづき
中央	10/22(月)	★18 日会津若松西 RC との TV 合同例会	山形屋				

